

全国番付でも「小結」級 高山村のしだれ桜。

しだれ桜の里・信州高山

湯つづきの里信州高山は、善光寺平の東辺に広がる山里である。最近「しだれ桜の里」として脚光を浴びている。ここ数年、桜マニアの間で秘かなブームをよんでいる。村には約20本のしだれ桜があり、その内半数が樹齢200年を超す。なかでも幹周約8mの坪井の桜は、日本彼岸桜番付で西の小結に選ばれている。また、新緑がけむる5月上旬、松川溪谷はオオヤマザクラが色濃く咲き、桃源郷の景を呈する。高山村は標高差が大きいので、花見の期間が長い。見頃は4月下旬。この面に掲載した水中、坪井、黒部、赤和観音、中塩を「高山五大桜」、山田温泉の延命桜、横道、大橋南のしだれ桜などを加えて「十大桜」とも人はよぶ。



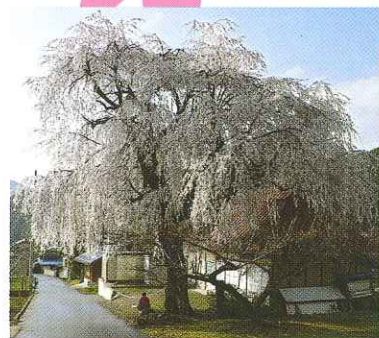
山田の三郷地区坪井にある。集落の中程の北方、坪井川が刻む谷の縁にある。開花時には谷の林を背にして際立つ。樹高約一〇m、幹周約八m、根元の直径約四m、樹冠約一六m。樹齢は村一番で、六〇〇年かふんで五〇〇年は超す。親木とみられる二本の主幹、根元からその子が育ち、孫やひ孫が株立つ。石川県巨樹の会による「日本彼岸桜見立番付」では西小結。老樹の気品をもつ。

●坪井のしだれ桜



●黒部のエドヒガン桜

黒部は樋沢川扇状地の扇頂部の山間の里。集落の南の水田地帯の一画にある。古村跡ともいわれる。幹周約七m、樹高約二三m、樹冠約一五m。黒みのある主幹が二本、一本は垂直、他は斜めに伸びて枝がはうように広がる。花の赤みが濃く、訪れる写真マニアが多くなっている。水田地帯の中の孤立樹なので、邸に稀なる孤高の気高さがある。樹下に「十二宮」を祀る。樹齢推定五〇〇年余。



●中塩のしだれ桜

観音堂の敷地に立ち、枝張りが程よくまとまっていて、赤みが濃く樹勢もよい。樹齢約一五〇年、樹高約一〇m、樹下には地蔵さんが安置されている。



●赤和観音のしだれ桜

山中の観音堂の登り口に立つ。赤和観音は、四〇〇年余りの歴史を持ち、本堂は亀原和太四郎により改築された。樹高一五m、樹齢二〇〇年余で、比較的花の赤みが濃

●50基にのぼる句碑・歌碑

高山村には数多くの句碑・歌碑がある。地図面では約半分。高山村では江戸時代から俳諧がさかんであった。小林一茶が訪れるようになっていっそう盛んになった。句碑の建立年代をみると芭蕉の「童塚」など江戸時代の古いものは高井側にある。明治大正期には山田側が多くなる。一茶句碑は日本で三番目に古い明治初期の碑を含めて4基ある。歌碑は山田温泉に訪れた近代の文人墨客のものが主で、温泉地にほとんどがある。

●紅葉と新緑の美しい松川溪谷

信州高山は、すでに紅葉の美しいことで名高い。紅葉が美しいだけに、春の新緑の美しさもまた格別である。それなのに人々はまだ、それに気づいていない。

三國山脈を源流とする松川は深いV字谷を刻んでいる。この広い斜面は落葉広葉樹でおおわれ、とりわけカエデ類が多いので、春はビロウドのホワイトグリーンの芽吹き、秋は赤色が卓越する紅葉がみごとである。

●森林スポーツ公園YOU游ランド

高山村を深い谷で割って流れる松川と支流樋沢川が合流する段丘上の平地林7ヘクタールの林間公園。ゆとりとやすらぎのある、人と自然とのふれあい空間がひろがる。温泉と屋内温泉プール、流水のウォーキングプール、トレーニングルーム、屋内ゲートボール、ターゲットバードゴルフ、マレットゴルフ、野外ステージ付き芝生のゆうゆう広場、子どもたちに人気の溪流広場・アスレチック、他に食事処の遊々亭などがある。

児童の遠足、高齢者の健康づくり、若者の体力づくりに好評。

(TEL 026-242-2210)

●歴史公園信州高山一茶ゆかりの里

高山村は俳人小林一茶とゆかりが深い。一茶は江戸時代の文化・文政期に高山村の久保田家の離れ家に130日ほど逗留したのを含めて168日ほど村を訪れている。一茶は悲慘ともいえる晩年を送ったが、高山は一茶にとってはいわば心の安住の地であった。そんな関係から一茶の真筆が多く残る。一茶逗留の離れ家と、これらの資料と彼の生涯や作品を映像でみせる展示棟、それに句碑のある庭などから構成された歴史公園で評価が高い。

(TEL 026-248-1389)



長野県高山村

TEL 026-245-1100

URL <http://www.vill.takayama.nagano.jp/>

E-mail sangyou@vill.takayama.nagano.jp

信州高山温泉郷観光協会

(信州高山アンチエイジングの里スパ・ワインセンター内)

TEL 026-242-1122

URL <http://shinshu-takayama-onsenkyo.com/>

E-mail info@shinshu-takayama-onsenkyo.com

●水中のしだれ桜

水中の山すそ、月生成跡の東施亭の入り口に、満開時には鮮やかな花の如く咲きほころぶ。通称「水中のシダレサクラ」。地域では鹿島神社境内にあるので「鹿島のシダレ桜」ともよぶ。幹周約4m、樹高約22m、樹冠径約12m。勢いのある大樹。寛保2年(1742)の水害の後、屋敷神である鹿島神を祀った。その際植えたとき、樹齢は250年を越えている。

信州高山村